

主権

歴史的概説

国家の誕生と国際法

ローマ教皇を中心とする普遍的権威の崩壊

1493年アレクサンデル6世教皇令 1494年トルデシリャス条約

1576年 Jean Bodin, Six Livres de la République

自然法

16世紀 Vitoria, Suarez 17世紀 Grotius

Vattelによる主権概念の導入 Vattel, Droit des Gens, 1758

背景 「国家」の確立・スイス人としての Vattel

実証主義の時代 19世紀 「人間」に対する信頼

意思実証主義が力を持った理由

第一次世界大戦 「19世紀」の終焉

一大知的革命 「人間は自由で合理的な存在である」という命題への疑念

Euclid 幾何学の破綻・Newton 物理学の否定・Freud による無意識の発見

絵画 写実主義 印象派 表現主義・Cubism・抽象画

音楽 Debussy, Schoenberg, Stravinsky

哲学・言語学 Wittgenstein, Saussure

主権概念への強烈な攻撃 Duguit, Scelle, Politis 主権は法の否定

主権概念の限定的理解 Wimbledon (判例 p. 74)

意思実証主義の破綻

現代 主権概念の再評価と再批判

再評価の要因 植民地諸国の独立

再批判の要因 社会経済的要因・法的要因

主権概念が生む法的問題

主権国家を法的に拘束することは可能か

自然法による説明

実証主義による説明

干渉

用語の問題

何が問題になるのか 武力行使禁止規範成立後の不干渉義務の内容

具体例 教科書問題

管轄権 パルマス島 判例 p. 116 国家の機能 the functions of a State

大原則 領域内では排他的

主権免除

起源

コモンロー国

大陸法系（ラテン法系）

20世紀に変化

実際的問題

理論的問題

参考 日本 横田基地訴訟

第一審 東京地裁八王子支部判決平9・3・14 1612 判時101

控訴審 東京高裁判決平10・9・14 1665 判時64

制限免除主義の問題点

外交特権免除

国家元首の免除 Pinochet 判例 p. 328

拷問は国家の機能でない？ 重大な国際犯罪の場合は免除なし？

経済法の域外適用

原因

域外適用 規範が適用される場合に、領域外の

- ・ 行動を規律する
- ・ 状況につき判断を下す
- ・ 事実を考慮に入れる

問題

関連国の法律で矛盾した行為を義務づけられる

シベリア・パイプライン事件

余りにも恣意的な基準

Helms-Burton 法 資料

域外適用は悪か？

日本 Nordion 事件 1999

管轄権競合の調整

・ 合意による調整 例 「反競争的行為にかかる協力に関する日米協定」1999

・ 合意がない場合は？